

令和5年度特集展示(会期：令和5年8月1日(火)～9月24日(日))



# 昭和の大宰府再置

—九州地方行政協議会と九州地方総監府—

Kyushu Historical Museum Exhibition guide

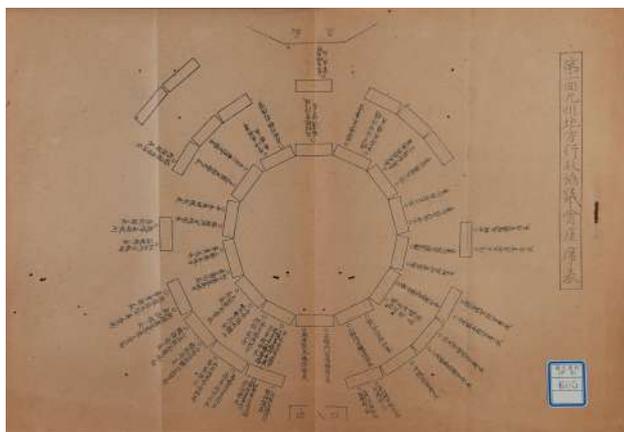
## 1 戦時期の九州統括機関

いまから80年前の昭和18年(1943)、福岡県庁に九州地方行政協議会という会議が置かれました。九州の知事など行政官が、戦時行政の調整のために集まった会議で、福岡県知事が統括役の会長に就任します。昭和20年には官庁である九州地方総監府に改組され、九州の行政機関全体を指揮することとなりました。

この二つの機関は、近代で唯一、法令で定められた九州統括機関でした。いずれも設置時には地元紙で古代の大宰府と結び付ける評価が論じられ、特に総監府の設置は、大宰府の再現として報じられています。本展では、この「昭和の大宰府」ともいえる二つの九州統括機関の姿について、当時の文書資料で紹介します。



九州地方行政協議会が置かれた福岡県庁の絵葉書(個人蔵)  
左の本館に会長室、右の西別館に会議場が設けられた。



第一回九州地方行政協議会関係資料(座席表・当館蔵)

## 2 九州地方行政協議会

地方行政協議会は、全国を北海、関東、九州などの9地方(後に8地方)に分け、管内の知事と国の出先機関の長が、物資の生産や輸送について連絡調整を行う会議です。昭和18年6月に地方行政協議会令に基づいて発足し、九州地方行政協議会は、福岡県に設置されました。会長は、協議会が置かれる府県知事の兼務で、政府は協議会設置に合わせ、元厚生大臣の吉田茂を九州地方行政協議会会長兼福岡県知事に任命しています(当時の知事は国が選ぶ官選知事)。この吉田茂、戦後に首相を務めた吉田茂とは、同姓同名の別人でした。会長以外の委員には、九州各県の知事と、大蔵省の熊本財務局長や農林省の熊本営林局長など、中央省庁が九州に設置した出先機関の長が就任しています。会長には、これらの知事や出先機関の長への指示権等が与えられ、九州の行政の統括役を担いました。

この九州地方行政協議会の設置が決まった時、地元の新報は福岡県を九州の中心県とし、その歴史的由来を、古代の大宰府に結びつける記事を掲載しました。実は明治初期から中期まで、九州の中核的な機関は主に長崎県や熊本県に置かれており、福岡県は20世紀に入ってから、九州の中核としての位置づけを固めたという歴史がありました。協議会の設置を通して、福岡県は九州の中心県であり、その由来は大宰府に遡るという意識が、当時の地元にあったことを読み取れます。

九州地方行政協議会は、昭和18年8月から、会議を始めました。第一回協議会の資料に含まれる座席表では、吉田会長以下の委員たちが机を円卓状に並べています。一部に会議については議事概要が残されており、出席者や議題、決定内容が記されていました。会議では、まず食料増産が議題となり、九州では甘藷(サツマイモ)や馬鈴薯(ジャガイモ)の生産や需給調整、土管を用いた排水促進による農地改良などが議論されています。また各県から福岡県の炭鉱に送る労働力の調整や、海運のための木造船建造、さらには陸運の動力たる牛馬の飼料の調整まで試みていました。

### 3 九州地方総監府

こうして発足した九州地方行政協議会でしたが、戦局激化の中、九州全体で物資が不足し、調整にも限界が見えるようになります。そのため、さらに強力な統括機関の設置が検討されるようになりました。昭和19年9月には、当時の帝国議会に「九州二州庁設置ノ請願」として、古代の大宰府をモデルとした機関の九州設置が、福岡市民から提案されています。昭和20年に入ると本土決戦が想定されるようになり、東京の中央政府と九州との分断も考えられるようになりました。

そのような状況下の昭和20年6月、地方行政協議会は廃止され、新たに地方総監府が発足します。会議体から官庁に改めたもので、福岡県にも九州地方総監府が置かれました。総監府は福岡県庁から独立した官庁で、総監には総監府令の発令や管内行政の指揮監督など、朝鮮総督や台湾総督とも比較できる強い権限を与えられています。実際に発令された総監府令や総監府告示が、当時の福岡県の公報に記載されています。こうした強い権限を持つ総監府の設置は、当時の地元新聞によって大宰府の再現とも評されていました。

なお九州地方総監には、吉田に代わって昭和19年12月から会長兼知事を務めていた戸塚九一郎がそのまま就任しました。さらに副総監、参事官や副参事官など、幹部だけで20名以上の職員が配されています。

### 4 “昭和の大宰府”が遺したもの

九州地方総監府は発足後、終戦前後の激動の時期の行政を指揮することとなりました。昭和20年8月9日の長崎への原爆投下時には、長崎県を支援するため、隣の佐賀県に警察(当時は消防兼務)や医療救護隊を派遣するよう指示しています。8月15日の終戦では、戸塚総監が徹底抗戦を唱える管内の知事を説得して無事に終戦を受け入れさせましたが、一方で総監府の会議では米軍が直ちに九州に上陸するとの誤った情報を広めてしまい、九州中が大混乱になる一幕もありました。終戦後には進駐軍の受入準備や、沖縄戦で壊滅した沖縄県庁の業務代行などを担っています。

一方で、政府は総監府を戦時の臨時機関と考えており、昭和20年11月、九州地方総監府は廃止されました。協議会と合わせて、僅か2年余の設置でした。

しかし、協議会・総監府が福岡に設置されたことで、九州の他都市に所在していた政府や民間の機関は、次々と福岡に移転するようになっていました。たとえば現在の高等裁判所に当たる控訴院は、総監府設置に合わせて、長崎から福岡への移転が決定しています。短命に終わった“昭和の大宰府”ですが、その存在は九州における官公庁の福岡集積を促し、後の福岡県と福岡市の発展に、大きな影響を遺しました。

(文化財企画推進室 渡部邦昭)

本展の展示資料一覧

| 番号 | 資料名                       | 年代              | 資料群名    | 所蔵       |
|----|---------------------------|-----------------|---------|----------|
| 1  | 地方行政協議会令                  | 昭和18年(1943)     | 伊東尾四郎文書 | 九州歴史資料館  |
| 2  | 九州地方行政協議会員名簿              | 昭和18年(1943)     | 伊東尾四郎文書 | 九州歴史資料館  |
| 3  | 第一回九州地方行政協議会関係資料          | 昭和18年(1943)     | 伊東尾四郎文書 | 九州歴史資料館  |
| 4  | 西日本新聞(複製・拡大)              | 原品:昭和18年(1943年) |         | 九州歴史資料館  |
| 5  | 第二回九州地方行政協議会会議顛末概要        | 昭和18年(1943)     | 伊東尾四郎文書 | 九州歴史資料館  |
| 6  | 議事項目                      | 昭和18年(1943)     | 伊東尾四郎文書 | 九州歴史資料館  |
| 7  | 県政重要事項                    | 昭和19年(1944)     |         | 福岡共同公文書館 |
| 8  | 第五回九州地方行政協議会々議顛末概要        | 昭和19年(1944)     | 伊東尾四郎文書 | 九州歴史資料館  |
| 9  | 石炭勤報隊供出二関スル協議会            | 昭和19年(1944)     | 伊東尾四郎文書 | 九州歴史資料館  |
| 10 | 九州地方行政協議会木造船及輓牛馬飼料等二関スル会議 | 昭和19年(1944)     | 伊東尾四郎文書 | 九州歴史資料館  |
| 11 | 木造船建造並修理二関スル協議会顛末         | 昭和19年(1944)     | 伊東尾四郎文書 | 九州歴史資料館  |
| 12 | 第十回九州地方行政協議会会議顛末          | 昭和19年(1944)     | 伊東尾四郎文書 | 九州歴史資料館  |
| 13 | 一月五日北九州要地軍官民連合幹部防衛演習記事    | 昭和20年(1945)     |         | 福岡県立図書館  |
| 14 | 知事事務引継書                   | 昭和20年(1945)     |         | 福岡共同公文書館 |
| 15 | 福岡県庁舎絵葉書                  | 大正~昭和時代(20世紀)   |         | 九州歴史資料館  |
| 16 | 福岡県庁舎本館・西別館絵葉書            | 昭和時代(20世紀)      | 安高文書    | 個人       |
| 17 | 西日本新聞(複製・拡大)              | 原品:昭和20年(1945年) |         | 九州歴史資料館  |
| 18 | 福岡県公報                     | 昭和20年(1945)     |         | 福岡県立図書館  |
| 19 | 福岡県公報                     | 昭和20年(1945)     |         | 福岡県立図書館  |
| 20 | 広域中心都市—道州制の基礎—            | 昭和46年(1971)     |         | 九州歴史資料館  |



編集 発行: 令和5年8月1日

九州歴史資料館  
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3  
TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834  
URL <https://kyureki.jp>